

病院の概要

- 病床数 300床
- 医師数（研修医を除く） 35名（うち指導医数 16名）
- 研修医数 1年目 0名 2年目 0名
- 研修医の主な出身大学 岩手医科大学・埼玉医科大学・
帝京大学・近畿大学・徳島大学・
山口大学・長崎大学・宮崎大学・
琉球大学・久留米大学・鹿児島大学・
熊本大学・大分大学
（いずれも協力型研修医）
- 診療科 内科 呼吸器内科 循環器内科 消化器内科
代謝・糖尿病内科 腎臓内科 神経内科 外科
心臓血管外科 呼吸器外科 整形外科 脳神経外科 乳腺外科 形成外科 皮膚科 泌尿器科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科
リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 救急科 病理診断科
- 1日平均外来患者数 約400名 ● 1日平均入院患者数 約20名
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本がん治療認定医機構研修施設、日本内科学会認定教育関連病院、
日本救急医学会認定専門医指定施設、日本高血圧学会高血圧認定研修施設、日本形成外科学会認定教育関連施設



研修プログラムの特色

このプログラムは、救急医療、プライマリ・ケアにおける基本的診療の知識、技能を習得し、総合的臨床能力と医療人としての正しい態度を身に付けることを目的としています。総合診療方式（スーパーローテイト方式）による2年間の初期臨床研修プログラムです。

内科・救急科・小児科・産婦人科・外科・麻酔科・精神科及び地域医療の各科ローテーションを必須とし、かつ救急部門も平行し、急性期救急医療からプライマリ・ケアを主とした研修をベースに問診・初期診断・初期治療の実践から適切な判断能力を身につけるようにします。具体的には臨床研修到達目標（厚生労働省）を目的としています。



プログラム 例 新久喜総合病院卒後臨床研修プログラム（募集定員2人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内 科						救急科			外 科	麻酔科	精神科
2年目▶	選択科目									小児科	産婦人科	地域医療

1年次、必修科目（内科6か月、救急部門3か月）または病院で定めた必修科目（外科1か月、麻酔科1か月）を新久喜総合病院にて研修を行い、精神科1か月を済生会鴻巣病院にて行います。救急部門は救急3か月のほか、2年間を通じ週1回程度の宿日直にて救急部門研修を行います。地域医療1か月を臨床研修協力施設（新上三川病院、所沢明生病院）または熊谷総合病院のいずれかの病院で研修を受けても可とします。産婦人科1か月を協力型病院（芳賀赤十字病院、深谷赤十字病院、羽生総合病院）のいずれかの病院で研修を受けても可とします。小児科1か月は熊谷総合病院にて行います。また、選択科目は9か月とし新久喜総合病院にて研修を行います。

研修医の処遇

- 給 与▶ 1年次：約58万円／月 2年次：約66万／月
- 諸手当▶ 当直手当、時間外手当
- 保 険▶ 健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険、病院賠償責任保険
- 勤務時間▶ 8時30分～17時
- 当 直▶ あり（6～8回／月） ※日直含む
- 休 暇▶ 土日祝、夏季休暇、年末年始、
有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）
- 宿 舎▶ あり（病院徒歩1分）
- その他▶ 学会・研修会等参加の補助あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・ 熊谷総合病院（小児科）
- ・ 深谷赤十字病院（産婦人科）
- ・ 芳賀赤十字病院（産婦人科）
- ・ 羽生総合病院（産婦人科）
- ・ 済生会鴻巣病院（精神科）
- ・ 熊谷総合病院（地域医療）
- ・ 新上三川病院（地域医療）
- ・ 所沢明生病院（地域医療）

当院のキーワード

新久喜総合病院の魅力

- ◎救急車が年間約6,000件搬入され、多くの症例に接し、学ぶことができます。
- ◎初期診断・治療から入院経過、手術、病棟ベッドサイドでの臨床指導、退院まで指導医と共に多くの症例に接し、学ぶことができます。多彩な急性疾患について確かな知識と技術を身につけることができます。
- ◎年間手術が約2,500件実施されています。
- ◎他科との壁が存在せず、他科医とも気軽に話が出来ます。医療スタッフのチームワークは抜群です。厳しいなかにも優しさあり。当院で勉強すれば、どの病院でも患者さんからの支持を受けることは間違いありません。
- ◎1年次、カンボジア小児病院（当院グループ職員が運営費の寄付を行っている病院です）に1週間の研修制度があります。
- ◎病院から徒歩1分の新築（平成28年8月完成）の綺麗な職員寮で研修2年間で過ごせます。（2.5万円/月）



研修責任者から

新久喜総合病院は、断らない医療を実践しています。研修医の皆さんには、まず、generalistとして、救急の現場でご活躍いただきます。第一線の救急の現場で、さまざまな患者さんと出会い、指導医とともに、多くの経験を積んでいただきます。



プログラム責任者
岡崎 幸生

当院の指導医は、specialistとして、各々、専門領域で活躍していますが、救急当番の際には、generalistとして活躍できる素養をもっています。

埼玉県利根医療圏は、人口当たりの医師数がたいへん少ない医療圏です。地域の皆さんのために、利根医療圏の救急医療を、ともに支えていきましょう。研修医の皆さんの限りなき情熱が、新久喜総合病院の活力となり、地域医療を支える原動力となっていくのです。研修医の皆さんは、救急チーム医療の、そして、新久喜総合病院のかけがえないメンバーです。

先輩研修医から



協力型研修医2年目
川崎 大記

当院は地域の基幹病院で救急患者は断らない医療を行い、一般的から専門的な疾患まで多様な症例を経験できます。医師やスタッフも親切な方が多く、働きやすい環境なので興味がある方は是非見学にいらして下さい。

埼玉医大 川崎

日中夜間問わず周辺地域から多くの救急搬送を受け入れており多くの症例に肌で触れることができます。患者様によりよい検査、治療方針を立てる力がつくと思います。

福岡和白病院 副嶋



協力型研修医2年目
副嶋 利弥



協力型研修医2年目
赤尾 光優

当院での臨床研修の魅力は、主体的である点だと思います。研修2年目では希望すれば指導医の監督のもと、自分で入院患者の治療を任せて貰えます。症例数も豊富で、初期研修先として優れた病院だと感じています。

新行橋病院 赤尾

女性医師支援コーナー

院内保育所を設置しております。時間外保育も対応しております。



連絡先

一般社団法人巨樹の会 **新久喜総合病院**

総務課 人事担当 柴田・甲斐

〒346-8530 久喜市上早見418-1

TEL 0480-26-3035(直通)

FAX 0480-44-8026

E-mail kukijinji@shinkuki-hp.jp

URL http://shinkuki-hp.jp/

アクセス 久喜駅から徒歩約30分またはバス約10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学実施中

当院ホームページより、申し込みください。

※交通費支給致します。（上限有り）

※宿泊施設あり